

～ たぶせの子育て応援団 ～

～ 読み聞かせボランティア ～

岡学校教育課 ☎ 52-5812

町内の小学校の子どもたちに、本の読み聞かせを通して地域住民の方々が児童を見守っていく『読み聞かせボランティア』。地域の住民や保護者が学校と協力しながら、全学年を対象に定期的に読み聞かせを行なっています。

今回は、田布施西小学校で『読み聞かせボランティア』として、活動している『花アカシアの会』の滝口さんに本を通して子どもたちと関わっていくことについてインタビューしました。



『本に触れ合ってもらふことの大切さ』とは？

Q1. 読み聞かせボランティアに聞きに来る児童たちの印象は？

A. とても楽しみにして来てくれていますし、真剣に聞いてくれていると思います。読み聞かせの中で、要所で一緒に声を出して読んでくれるので、一体感があると感じています。

Q2. 活動をするにあたって、やりがいを感じるころはどこですか？

A. 読んでいる中で子どもたちの嬉しそうな様子を見られるころです。

また活動を通して、町で出会っても声をかけてくれたり、学校で会ったときは『今日、読み聞かせあるの？』と聞いてくれて、読み聞かせを楽しみにしてくれていると感じられるころです。

Q3. 『本に触れあってもらふことの大切さ』とはどんなところだと思いますか？

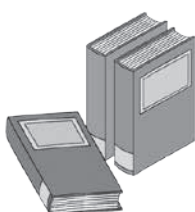
A. 新しい知識に触れられるころ、物語で思いやりの心を育んでいくことができます。



るところです。
また、読み聞かせを通して、より多くの本に触れ合ってもらふことで、知的好奇心をくすぐっていくことができます。



◀ 絵本の読み聞かせの様子



11月29日（金）に開催された『たぶせちびっこまつり』で『絵本の読み聞かせ』が実施されました。
そこでは、小さな子どもでも楽しめる絵本を選んで、読み聞かせをしていただきました。

ちびっこまつりの
読み聞かせ